

岩手・宮城県際ネットワーク

— 平成24年2月1日発行 — (担当公所：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所) (第123号)

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県 県南広域振興局経営企画部 TEL 0197-22-2812 <http://www.pref.iwate.jp/index.rbz>

岩手県 沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター TEL 0192-27-9911 <http://www.pref.iwate.jp/index.rbz>

宮城県 北部地方振興事務所栗原地域事務所商工・振興班 TEL 0228-22-2195 <http://www.pref.miyagi.jp/nh-khsgsin/>

宮城県 東部地方振興事務所登米地域事務所商工・振興班 TEL 0220-22-6123 <http://www.pref.miyagi.jp/et-tmsgsin/>

宮城県 気仙沼地方振興事務所 商工・振興班 TEL 0226-24-2593 <http://www.pref.miyagi.jp/ks-tihouken/>

圏域情報

◆◆◆◆ 岩手県県南広域振興局 ◆◆◆◆

川崎特産 新酒「風の旅人」が誕生 ～かわさき酒米づくりプロジェクト～

一関市川崎支所では、いちのせき元気な地域づくり事業「かわさき酒米づくりプロジェクト」を実施しており、ホタルが飛び交い、メダカが生息する豊かな自然環境のなか、岩手県オリジナル品種の酒米「吟ぎんが」を栽培し、さらに県産酵母「ゆうこの想い」、酒の仕込み水として布佐洞窟(鍾乳洞)の湧水、南部杜氏の技などによる岩手の地域素材にこだわった酒づくりを進めています。このたび純米吟醸酒ができあがりました。

震災被災者、復興支援外国人活動組織、地元小学生から協力を得て、復興祈願の想いを乗せ、一関から元気発信したこの酒を『風の旅人』と名付けました。

現在は、米の作付け面積が少ないことから生産量が限定され、市場へ流通することはできませんが、来年以降は作付け面積を増やす予定となっています。

■問い合わせ先

一関市川崎支所建設課

電話 0191-43-2111(内線)242

◆◆◆◆ 岩手県沿岸広域振興局経営企画部 大船渡地域振興センター ◆◆◆◆

「三陸・けせん観光物産フェア」開催!

気仙地方の特産品を一堂に販売する「三陸・けせん観光物産フェア」が、平成24年1月13日から15日までの3日間、東京・銀座のいわて銀河プラザで開かれ、震災から立ち上がる元気な地域の姿を首都圏にアピールしました。



三陸・けせん観光協議会が主催し、岩手県沿岸広域振興局などが共催するこのフェアは、

今年で 12 回目の開催となります。気仙の観光・物産・行政関係者が販売スタッフとして参加し、大船渡つばき娘や住田町の五葉山火縄銃鉄砲隊、岩手県の観光PRキャラクター「うにっち」が会場内で観光チラシを配布するなど、フェアを盛り上げました。



大船渡市のワカメやサンマのみりん干しなど水産加工品のほか、陸前高田市の生しいたけや菓子、住田町の鶏ハラミやソーセージなどが出品され、来場者が試食しながら気仙の商品を買い求めました。

「復興ブース」では、震災復興の状況を伝える写真集等の展示や高田松原の倒木を使った通行手形、キーホルダーなどの復興グッズが販売されたほか、「体験コーナー」では、早採りワカメのしゃぶしゃぶの試食が人気を集めました。



■問い合わせ先

三陸・けせん観光協議会

電話 0192-21-1922

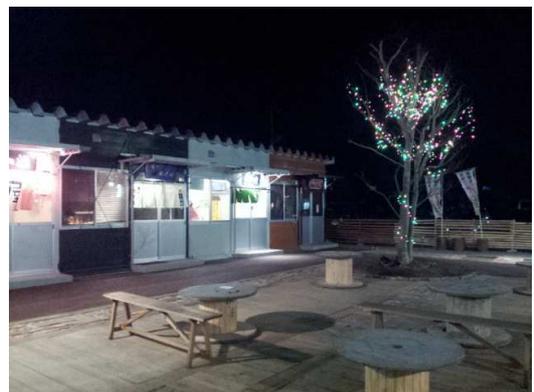
大船渡に灯火を！大船渡に元気を！ 「大船渡屋台村」がオープンしました！

平成 23 年 12 月 20 日（火）に東日本大震災津波で市街地が流失した大船渡市大船渡町内に、すし、おでん、沖縄料理、中華料理など 20 軒の飲食店が連なる「大船渡屋台村」がグランドオープンしました。



大船渡屋台村は、中小企業基盤整備機構の仮施設整備事業を活用して整備されたもので、立ち上げに当たってはライオンズクラブ国際協会から厨房施設が提供されるなど、国内外から支援が続々と寄せられました。被災して再出発しようとする事業主や被災を機に新規起業を志す事業者が、屋台経営を通じてノウハウ等を習得し、やがて独立して大船渡の情報発信基地となることを視野に入れた町づくりプロジェクトです。

震災後、夜は真っ暗になってしまっていた大船渡町近辺でしたが、この屋台村を中心に灯りと賑わいを取り戻しつつあります。



■場所

岩手県大船渡市大船渡町字野々田 19-1

■ホームページ

<http://www.5502710.com/>

■問い合わせ先

大船渡屋台村有限責任事業組合

代表 及川雄右

電話 0192-27-1531

地方振興部 商工・振興班

電話 0226-24-2593

南三陸伊里前福幸商店街

南三陸町内においては初めてとなる、中小企業基盤整備機構の制度を活用した仮設商店街「伊里前福幸商店街」が平成23年12月13日（火）にオープンしました。



「伊里前福幸商店街」は、東日本大震災の津波で店を失った南三陸町歌津地区の方々が立ち上げた仮設商店街です。

「伊里前福幸商店街」には8店舗が入居しており、食料品小売店や鮮魚店、衣料品店、理容店など様々な種類の店舗が並んでいます。

壊滅的な被害を受けた歌津地区の唯一の商店街でもありますので、地域の方々のコミュニケーションの場にもなっています。

■場所

宮城県本吉郡南三陸町歌津字伊里前 96 番 1

■問い合わせ先

南三陸商工会

電話 0226-46-3366

◇◆◆◇ 宮城県

気仙沼地方振興事務所 ◇◆◆◇

昇り竜が気仙沼に登場？

気仙沼の岩井崎は、陸中海岸国立公園の南端に位置し潮吹岩で有名ですが、東日本大震災の津波で壊滅的な被害を受けました。その津波により岩井崎にある松のうち1本が姿を変え、「昇り竜」のように見えると話題になっています。



松の高さは2メートル程あり、海を見つめるように立っています。今年の干支の辰（たつ）に重なることから多くの見物客が連日、訪れています。

東日本大震災の津波に負けずに立ち続ける姿が共感を呼び、気仙沼の「復興のシンボル」となることが期待されます。

■問い合わせ先

宮城県気仙沼地方振興事務所

イベント情報など

◆◆◆◆ 岩手県県南広域振興局 ◆◆◆◆

一関市・大東大原水かけ祭り

この祭りは、明暦3年（1657年）旧正月18日、江戸本郷丸山本妙寺（現 豊島区巢鴨）を火元とする、俗に振袖火事と呼ばれる大火があり、江戸城天守閣まで焼失し、江戸の街が壊滅状態となったこの日を厄日と定め、火防祈願と火防宣伝の二つを兼ねた祭りとして始まったものと伝えられています。

後年、厄年の人々の厄落としが併せて行われるようになり、今日では、厄落としと諸々の安全祈願が主流をなすようになっており、さらに近年は、1年間の無病息災と大願成就を祈願しての参加者も多くなっています。



■日時

平成24年2月11日（土・祝）

■場所

岩手県一関市大東町大原 大原商店街

■参加者申込み

裸男体感参加は事前申込が必要

申込期間

平成24年1月24日（火）から2月4日（土）まで

■問い合わせ先

大東大原水かけ祭り保存会

電話 0191-72-2282

せんまやひなまつり

千厩酒のくら交流施設（国有形文化財旧佐藤家住宅・旧横屋酒造）と千厩商店街においてひなまつりを開催します。明治・大正時代の着物や帯も展示していますのでぜひおこしください。



■日時

平成24年2月11日（土・祝）から3月4日（日）まで

■場所

岩手県一関市千厩町

- ・千厩酒のくら交流施設
- ・千厩商店街

■問い合わせ先

千厩ひなまつり実行委員会事務局

電話 0191-53-2070

第2回もちくらバイキング

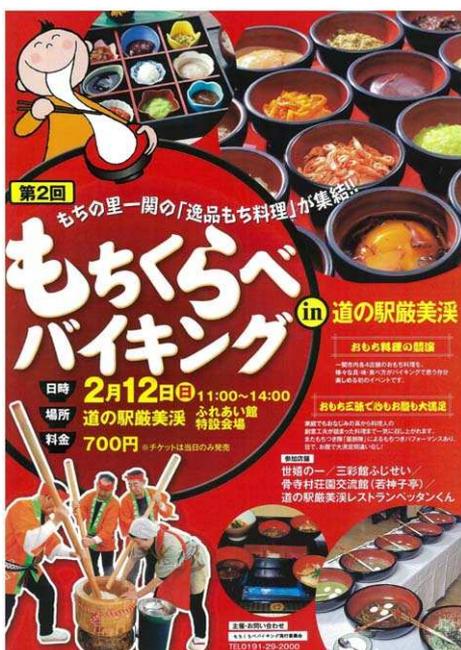
一関市内の4店舗のおもち料理を、様々な具・味・食べ方がバイキングで思う存分楽しめるイベントです。

今回は、世嬉の一、三彩館ふじせい、骨寺村荘園交流館（若神子亭）、道の駅厳美溪レストランぺったんくんの4店舗が参加します。

家庭でもおなじみの具から、料理人の創意工夫が詰まった料理まで、食べられます。

また、もちつき隊「厳餅隊」によるもちつきパフォーマンスや、民謡の菅原昇一座の公演もあります。

目で、お腹で大満足間違いなしです！



■日時

平成 24 年 2 月 12 日 (日)
午前 11 時から午後 2 時まで

■場所

道の駅厳美溪 ふれあい館特設会場

■料金

700 円 (チケットは当日のみ販売)
※食べ放題です。

■問い合わせ先

もちくらべバイキング実行委員会
電話 0191-29-2000

◆◆◆◆ 宮城県北部地方振興事務所
栗原地域事務所 ◆◆◆◆

第 7 回花山雪っこまつり

栗原市花山地区で、寒い冬を楽しむためのお祭り「花山雪っこまつり」が開催されます。

雪上ドッジビー(フリスビーとドッジボールを掛け合わせたニュースポーツ)大会やスノーモービル乗車体験、歩くスキー体験など、冬ならではの遊びを体験することができます。また、足湯や海鮮はっと汁の振舞いなどもあります。



■日時

平成 24 年 2 月 11 日 (土・祝), 12 日 (日)
午前 10 時から午後 3 時まで

■場所

花山農山村交流センター
道の駅 路田里はなやま

■問い合わせ先

第 7 回花山雪っこまつり実行委員会
電話 0228-56-2265

「お茶わんプロジェクト」完了報告会

「東日本大震災支援ネットワークくりはら」は、東日本大震災被災者支援事業として、震災直後からお茶わんなどの食器を中心とした生活必需品の無料提供を行う「お茶わんプロジェクト」を行ってきました。

昨年 10 月に、被災沿岸地域等への食器の配布作業が完了したため、活動報告及び交流会を開催します。



■日時

平成 24 年 2 月 8 日 (水)
午後 6 時 30 分から

■場所

栗原市市民活動支援センター 多目的室

■参加費

300 円（お菓子代） ※申込不要

■問い合わせ先

特定非営利活動法人 Azuma-re (アズマーレ)
電話 0228-22-1905

市民活動事例発表・交流会

栗原市内の4つのNPO等の活動事例発表及び講演会を開催します。

■日時

平成24年2月12日（日）
午前10時から正午まで

■場所

栗原市市民活動支援センター 多目的室

■活動事例発表団体

- ・NPO 法人 Azuma-re
- ・NPO 法人栗原市体育協会
- ・NPO 法人まきばフリースクール
- ・NPO 法人ウェルビーイングネット

■講演内容

「市民活動団体のステップアップのポイント」～つながることから広がる～

講師：伊藤 浩子 氏

（せんだい・みやぎ NPO センター事務局長）

■参加費

無料

■問い合わせ先

栗原市企画部市民協働課
電話 0228-22-1164

◇◆◆◇ 宮城県東部地方振興事務所

登米地域事務所 ◇◆◆◇

米川の水かぶり

国の重要無形民俗文化財に指定されている「米川の水かぶり」は、登米市東和町米川地区で800年以上の長い歴史と伝統を誇る火伏せの伝統行事です。

毎年2月の初午の日の朝、地区内在住の男たちが、藁で作ったしめ縄を裸体に身につけ、顔に墨を塗り神々の使いとなり、奇声をあげて家々の戸口に用意された桶の水を屋根にかけながら町を走り抜けます。男たちが通りかかると町内の人々は争って装束の藁を抜き取り、自家の屋根に上げると火伏せのお守りになると伝えられています。

さらに、出発地となる大慈寺境内の広場では、豚汁のサービス、特産品販売などが行われますので、皆様お誘いの上、是非ご覧ください。



■日時

平成24年2月3日（金）
午前10時30分から正午まで

■場所

宮城県登米市東和町米川（五日町地区）

■問い合わせ先

登米市東和総合支所地域生活課
電話 0220-53-4111

第14回登米市民劇場「夢フェスタ水の里」

「三代横綱物語 われは丸山 押さば押せ」

登米市の文化や歴史をテーマに毎年上演される市民手づくりの演劇「夢フェスタ水の里」。今年も、登米市米山町中津山が生んだ江戸中期の英雄で三代横綱である丸山権太左衛門の一代記です。「押さば押せ」の精神でいかさま相撲を企む一味に敢然と立ち向かい、抜群の成績で横綱にまで登りつめた英雄の勇姿や思いを市民が熱演しますので、皆さまお誘い合わせの上、是非ご覧ください。

◆物語のあらすじ◆

大洪水の被害を受けた江戸。大坂で活躍していた大関、丸山権太左衛門は江戸に戻り、復興作業に汗を流す一方、勧進相撲を計画した。そんな折、いかさま相撲を企む一味から「わざと取組に負ける」と脅かされた。妹を人質に取られた彼は、この逆境を押し相撲の極意「押さば押せ」の精神ではねのけ、敢然と一味に立ち向かった…。7年後。江戸及び江戸相撲の再興と抜群の成績により、彼は相撲宗家の吉田司家から三代目・日下開山(ひのしたかいさん)免許を受けた。別名は横綱。だが、無念の人生を終えた。登米市米山町中津山が生んだ江戸中期の英雄、三代横綱の一代記。

■日時

平成 24 年 3 月 3 日 (土)

午後 6 時 30 分開演(午後 5 時 30 分開場)

平成 24 年 3 月 4 日 (日)

午後 2 時開演 (午後 1 時開場)

■場所

登米祝祭劇場

(宮城県登米市迫町佐沼字光ヶ丘 30)

■入場料

大人 前売券 1,000 円 (当日 1,200 円)

小・中学生・高校生 前売券 500 円 (当日 600 円)

未就学児 無料

■問い合わせ先

登米祝祭劇場

電話 0220-22-0111

※チケット取扱い場所については、登米祝祭劇場にお問い合わせください。

